

国際学会 16th International conference on materials chemistry (MC16) への派遣報告
理学研究科物質理学専攻 物性化学研究室
博士後期課程 3年 中島 一哉

■学会名

16th International conference
on materials chemistry (MC16)

■開催地

University College Dublin
(アイルランド, ダブリン)

■出張期間

2023年7月2日から9日

■概要



本派遣は、アイルランド、ダブリンにて開催された国際学会 MC16 への参加および口頭発表、ならびにストラスブール大学での研究ディスカッションの遂行を目的として実施した。

MC16 は材料化学の全分野を対象とした学会であり、主な分野として Approaches to material design and discovery, Future materials, Materials for energy, Materials for life の 4 テーマが用意されている。報告者はこのうちの Future materials において口頭発表に採択され、講演を行った。

ストラスブール大学では融合研究において得られた知見に関する数学的な実証を行うため、Vincent Robert 教授とディスカッションを行った。また、先方の研究についても実験的な観点を交えた意見交換も行った。

■所感

今回の発表では、融合研究の過程で見出した新しいプロセスに基づく円偏光発光異方性の増強について、最新の円偏光発光に関する研究の動向を交えて発表しました。質疑応答では、ターゲットとした金属有機構造体の設計や構造などの観点から発光のメカニズムやプロセスに至るまで、多くの質問をいただきました。また、休憩時間には、同じく円偏光発光を研究する研究者と議論を交わす機会に恵まれました。これらを通じて、今後の課題設定に重要な知見を得られたことはもちろん、研究や国際交流の楽しさを再認識するに至りました。

また、ストラスブール大学では Vincent 氏と共同研究に関するディスカッションを行い、その後は先方の博士後期課程学生との交流に参加しました。現地の郷土料理を食べながら、研究に対する思いから文化、風土に関する世間話まで様々な話題を交わすことができ、大変貴重な経験となりました。

最後に、日々の研究指導および MC16 という学会をご紹介くださった阿波賀 邦夫 教授、水津 理恵 特任助教、MC16 に至るまでの測定や解析、資料改訂にご助力をいただいた共同研究者の皆様、そして、経済的支援により MC16 への登壇を実現させてくださった GTR、関係者様に心より感謝いたします。